

令和3年度 学校評価計画

川北町立橋小学校

| | 評価項目と具体的取組 | 主担当部 | 評価指標 | 達成度判断基準 | 備考 |
|----------------------|--|-----------------|---|---|---|
| I 組織的な 学校運営 | 【学校教育ビジョンの具現化】 学校運営委員会や校務委員会と職員会議を密接に連携させ、学校教育ビジョンのもと、チーム学校を常に意識し、組織的主体的に学校運営に参画する。 | 総務部 | 【満足度指標】 学校教育ビジョンを意識しながら、それを実現すべく組織的主体的に学校運営に参画している | 組織的主体的に学校運営に参画していると回答する職員の割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 | 7月12月 教員アンケート |
| | 【働き方改革】 業務の役割分担の適正化と組織的協働的な学校運営に努め、ワークライフバランスを大切にしている。 | 総務部 | 【満足度指標】 職員は「ワークライフバランス」の大切にし、充実感を持って職務の遂行に努めている。 | ワークライフバランスを大切にし、充実感を持って教育に当たっている。と回答する職員の割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 | 7月12月 教員アンケート |
| II 確かな学力の 育成 | 【学力向上】 単元のゴールやB標準の明確化、見通しの見える化を意識した授業づくり、朝学習における基礎的事項の習熟や活用力の学習指導に努め、基礎的基本的学力の充実、活用力の向上を図る。 | 教務部 | 【成果指標】 取組の結果、基礎学力が充実し、活用力が向上している。 | 国語・算数の単元テストの平均点が88点以上であった学年が A 全学年 B 5つの学年 C 4つの学年 D 3つの学年以下 | 7月12月2月 単元テストの平均 |
| | 【ことばの力を磨いて学びに向かう子の育成】 児童が主体的・対話的に学ぶ学習活動を推進し、深い学びにつながる指導法の向上を図る。 | 教育推進部 | 【満足度指標】 主体的・対話的で深い学びに向かう授業づくりの取り組みを通して指導力が向上したと感じている。 | 学校研究の取り組みを通して指導力が向上したと感じる教員の割合が A 100% B 85%以上 C 75%以上 D 75%未満 | 7月12月 教員アンケート |
| | 【読書の量の向上】 図書館司書と連携し、毎月おすすめの本の達成状況を知らせ、振り返ることで、主体的な読書活動に向けたしかけの工夫を図る。 | 教務部 (図書担当) | 【成果指標】 学年のおすすめの本を読むことが出来ている。 (1・2年20冊、 3年15冊、 4～6年10冊) | 学年の「おすすめの本」を読み終えた児童の割合が A 95%以上 B 85%以上 C 75%以上 D 75%未満 | おすすめの本の冊数 7月(2年7冊、1・3年5冊、4～6年4冊) 12月(1・2年14冊、3年10冊、4～6年7冊) 2月(1・2年20冊、3年15冊、4～6年10冊) |
| III 豊かな人間性の 育成 | 【みんなが安心できる楽しい学校づくり】 情報共有により、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。いじめは小さな芽のうちに摘むと認識し、いじめを認知した時は組織的に迅速に対応する。 | 生徒指導部 | 【満足度指標】 児童が自己有用感を抱きながら、楽しく学校生活を送っている。 | 「学校は楽しい」と回答した児童が、 A 90%以上 (あてはまるくどちらかというときははまる場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 | 7月12月 児童アンケート |
| | 【道徳教育の充実】 道徳の時間を要として、構造的な板書や発問、ふり返りの工夫をし、道徳教育の充実を図る。 | 教務部 (道徳教育推進) | 【満足度指標】 自分の思いや考えをもち、友達と議論しながら考えを深めている。 | 「自分の思いや考えをもち、友達と話し合うことができた」と感じている児童の割合が、 A 90%以上 (いつもしたく時々 の場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 | 7月12月2月 道徳アンケート |
| | 【児童の自主性・主体性の育成】 よりよい学校・学級づくりに、児童会や委員会、学級会活動、学校行事等に自主性・主体性をもって取り組める児童の育成に努める。 | 生徒指導部 | 【満足度指標】 児童会、委員会、学級活動等において、児童はよりよい学校・学級づくりに進んで取り組めたと感じている。 | よりよい校風づくりのために進んで取り組めたと感じている児童の割合が、 A 90%以上 (但しあてはまるくどちらかというときははまる場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 | 7月12月 児童アンケート |
| IV 健やかな体の 育成 | 【体力の向上】 体育の授業や児童の活動を主とした「体力作り1校1プラン」、「スポチャレ」の取組を通して体力の向上を図る。 | 保健安全 ・体育部 | 【成果指標】 11月でのミニ体力テストにおいて長座体前屈の記録が5月の記録を上回る。 | 11月でのミニ体力テストにおいて長座体前屈の記録が5月の記録を上回る児童(4～6年生)が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 60%未満 | 11月 ミニ体力テスト |
| | 【心身の健康】 心身ともに健康で元気に学校生活を送るために、スクールカウンセラー等の外部機関とも連携して、児童の自己肯定感を高める取り組みの充実を図る。 | 保健安全 ・体育部 | 【満足度指標】 心の健康に関する授業を通して、自他の良さに気づき、心身ともに健康で、元気に学校生活を送っている。 | 「自分にはよいところがある」と感じている児童の割合が、 A 90%以上 (あてはまるくどちらか の場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 60%以上 | 7月12月 児童アンケート |
| V 家庭・地域との 連携 | 【キャリア教育の推進】 優れた芸術文化や働く人の生き方にふれる特別授業を企画し、生き方にふれることで夢や目標を育んでいき、地域を誇りに思える児童を育てる。 | 教務部 | 【満足度指標】 優れた芸術文化や働く人の生き方にふれる特別授業や各教科におけるGTとの授業や地域のよさを知る機会を通して児童が学びを深め夢や目標をもっている。 | 特設授業やGTとの学習で地域の方とのふれ合い、地域のよさを知る機会を通して特製の夢や目標を持って感じた児童の割合が A 95%以上 (あてはまるくどちらか の場合はB) B 85%以上 C 75%以上 D 75%未満 | 7月12月 児童アンケート |
| | 【社会性の育成】 社会性を身につけた児童を地域ぐるみで育成するため、あいさつを重点に、家庭・地域との連携を図り、身近な人に進んで明るいあいさつができる児童を育てる。 | 生徒指導部 | 【満足度指標】 家庭・地域や学校で、児童は進んで明るいあいさつができています。 | 進んで明るいあいさつをしていると回答した児童の割合が、 A 90%以上 (あてはまるくどちらか の場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満 | 7月12月 児童アンケート |